大学・産学連携

大学発ベンチャー挑戦 133

有害な土壌・排水を浄化

鉱物で重金属を吸着・固定

ソフィアは

ソフィアは有害物質を含む土壌や排水の浄化に取り組む金沢大学発のベンチャー企業だ。池田研社長が総化研材会社のサラリーマン時代に、当時、金沢大学理学部地球学科助教授だった佐藤努氏（現北海道大准教授）の研究会を紹介。有害な重金属を吸着し固定化する鉱物「シュベルトマナイト」の存在を知った。

「探し続けてきた物質に出会った。そんな思いだった」（池田社長）。

早速、佐藤氏とシュベルトマナイトを使った汚染物質除去資材の共同開発に着手、02年にソフィアを設立。金沢大学技術移転機関（TLO）の第1号認定企業となった。

しかし自然界にあるシュベルトマナイトはそのまま使えない不溶化という特性を持つ。従来の土壌汚染除去法に比べ処理コストが安い点を売り上げた。

山岡部の大規模道路、トンネル掘削工事で掘り出された土壌にはヒ素が含まれるケースがある。「火山国の日本は土壌中に重金属を多く含む地質学的な特質がある」（同）。同社の製品群を使えば、ヒ素などを不溶化して安全な土石とでき、汚染物質を拡散防止するとともに、土石の再利用も可能となる。

こうして土壌の汚染物質除去技術で一定の評価を得た同社は、次の課題テーマとして水処理分野を見つける。アスレーSを利用したヒ素除去資材を開発済みで、従来のイオン交換樹脂による膨大な

ソフィアは有害物質を含む土壌や排水の浄化に取り組む金沢大学発のベンチャー企業だ。池田研社長が総化研材会社のサラリーマン時代に、当時、金沢大学理学部地球学科助教授だった佐藤努氏（現北海道大准教授）の研究会を紹介。有害な重金属を吸着し固定化する鉱物「シュベルトマナイト」の存在を知った。

「探し続けてきた物質に出会った。そんな思いだった」（池田社長）。

早速、佐藤氏とシュベルトマナイトを使った汚染物質除去資材の共同開発に着手、02年にソフィアを設立。金沢大学技術移転機関（TLO）の第1号認定企業となった。

しかし自然界にあるシュベルトマナイトはそのまま使えない不溶化という特性を持つ。従来の土壌汚染除去法に比べ処理コストが安い点を売り上げた。

山岡部の大規模道路、トンネル掘削工事で掘り出された土石にはヒ素が含まれるケースがある。「火山国の日本は土壌中に重金属を多く含む地質学的な特質がある」（同）。同社の製品群を使えば、ヒ素などを不溶化して安全な土石とでき、汚染物質を拡散防止するとともに、土石の再利用も可能となる。

こうして土壌の汚染物質除去技術で一定の評価を得た同社は、次の課題テーマとして水処理分野を見つける。アスレーSを利用したヒ素除去資材を開発済みで、従来のイオン交換樹脂による膨大な処理コストを削減する。

また新ジャーナルを活用することでも論文という研究業績を積めるため、産総研の第2、第3期産総研研究者や企業研究者にインセンティブを与える点も注目される。

池田　社長

ソフィアが開発した汚染物質除去資材「アスレーS」

▲……理に比べ費用は3分の1というのが売りだ。

さらに、こうした独自製品、技術で「発展途上国の環境浄化に貢献したい」（同）と採算は世界へ広がる。

（金沢支局長・柳井久言）

▽本社＝東京都墨田区、03・6426・1315▽社長＝池田研高氏▽設立＝02年9月▽資本金＝6330万円▽従業員＝20人

産総研

実践的統合研究を紹介

来年1月、論文誌発刊

ここ数年、産総研は実践的研究を重視する方向に舵を切っている。ここ数年、産総研は実践的研究を重視する方向に舵を切っている。